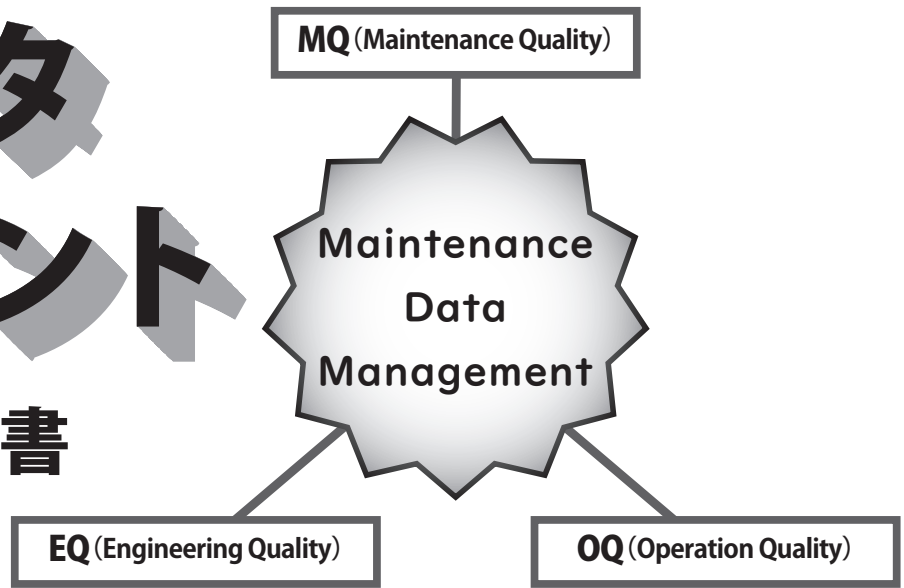


保全データ マネジメント の考え方 報告書



実費頒布開始

実際に使われている 388 の保全データ類

データ情報源 LC 段階	保 全 PDCA	カテゴリ区分	保全（設備管理）で扱う データ・情報	データ 類性質	各 LC 段階業務 PDCA の活 用するデータ類		
					設 計 活 用 PDCA	施 工 活 用 PDCA	製 造 活 用 PDCA
共通管轄	P	基準・規則	・法申請資料・法的要求事項・ 適用法規	三次	P	P	P
共通管轄	P	基準・規則	・変更管理基準（チェックリスト）	三次	P	P	P
設計管轄	P	設計・据付	・設備設計情報（設計条件、運 転条件、仕様、図面）	一次	P		P
設計管轄	D	プロセス	・プロセス情報（P&ID（配管・ 計装）、PFD（プロセスフロー）、 UFD（ユーティリティ系統）、PMS （EYECAD データ他））	一次	D		P
施工・工事	D	外注基準	・工事安全基準、工事安全規則	三次	P	P	D
施工・工事	D	外注基準	・検収基準・仕様書	三次	P	C	D
運転・製造	D	施工・保全工事	・情報技術（モバイルPCによる 工事図面、機器図閲覧等）	三次	D	P	D
運転・製造	C	解析・分析	・連続運転評価	三次	P		A
保全	P	施工・保全工事	・工事管理データベース				
保全	D	施工・保全工事	・開放検査記録・開放 （施工状況、検査結果、 定記録、補修内容、試運 工程実績、コスト実績など）				
保全	C	解析・分析	・故障解析データ ・故障原因解析データ	三次			C
保全	A	次期反映	・基準類見直し（MP 情報）	三次	A		C

一部例

<巻末資料>:「保全データ」の実態調査結果より

特徴

- 経営リスク視点から「包括的な保全データマネジメントシステム」提案
- 代表的な設備ユーザーが実際に扱うデータ類の実態を調査
- 実際に使用されている保全データ類 388 を掲載
- 「一次データ」：設備状態データ、「二次データ」：DB、「三次データ」：情報
- IoT が活用できる物理的データと、人を介してしか取れない「人間系データ」の把握
- 評価指標 EQ（設計段階）、QQ（運転段階）、MQ（保全段階）の事例紹介

裏面で「目次」をご参照ください！

頒布価格(円)

*別途送料がかかります
*適用する消費税は、お申込みを
承った時点での消費税率とさせ
ていただきます

MOSMAS Maintenance Data Management



公益社団法人日本プラントメンテナンス協会

『保全データマネジメントの考え方 報告書』

	本体 価格	消費税 (10%)	税込み価格	発行日	判
当会会員	2,500	250	2,750円	2020.06	A4 96頁
一般	3,000	300	3,300円		

●お申込み方法・料金お支払い方法●

- 下記の申込み書に必要事項をご記入のうえ、ファクシミリにてご送付、またはホームページからお申込みください。電話のみでの申込みは受け付けておりません
- 資料とともに請求書をお送りいたします。請求書が届き次第、当会指定の銀行口座にお振り込みください。なお、振込み手数料は貴社にてご負担ください。お支払いは、原則として翌月までにお願いします

●お申込み・お問合せ先●

○ホームページからのお申込み (推奨します)

<http://www.jipm.or.jp/>

○FAXによるお申込み

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

FAX 03-6865-6082

*電話によるお申込みは受け付けておりません

○内容お問い合わせ

電子メール: rd@jipm.or.jp

電話: 03-6865-6081

一次、二次、三次データ割合

〔データ性質〕

一次データ:

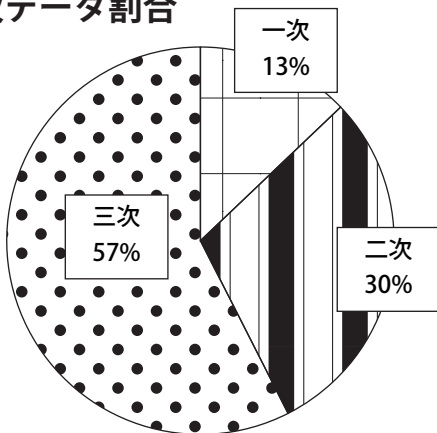
設備状態データ

二次データ:

データベース化が
可能なデータ

三次データ:

情報 (意味データ)



目次

第1章 保全PDCAサイクルにおけるデータマネジメントの重要性

1. 保全の経営リスクとデータマネジメントの必要性
2. 保全の経営リスク
 - (1) 事業タイプによるリスクと保全/設備管理のあり方
 - (2) 装置系プラントの経営リスクと事故
 - (3) 保全PDCAサイクルにおけるデータマネジメントの課題
3. 想定外の事故・トラブル解析と対策
 - (1) 想定外の事故・トラブル分類
 - (2) 想定外を管理下に置くデータマネジメント
4. 包括的なデータマネジメントシステムの提案
5. 第1章のまとめ

第2章 保全データの「デジタル化」と情報化

1. 保全データの「デジタル化」と情報化の必要性
2. 石油化学系の劣化損傷に対する設備管理の現状と課題
 - (1) 装置系プロセスの材料劣化管理の管理体系
 - (2) 材料劣化管理の基盤構築整備
 - (3) 劣化管理のための設備管理実務 (検査計画～実施～アクション)
 - (4) 現状課題と保全データ・情報の活用必要性
3. 保全「情報化」の現状と課題
 - (1) 保全で扱う「情報」の対象
 - (2) 実態調査方法
 - (3) 調査結果の集計整理とカテゴリー区分の導入
 - (4) 解析結果
 - (5) 調査によって見えてきた課題
4. 第2章のまとめ

第3章 保全段階でのデータマネジメントの高度化 (保管階データ品質向上と活用)

1. 保全データの種類と「情報化」の課題
 - (1) 機械的に取れる「物理データ」
 - (2) 人間を介してしか取れないデータ
2. 保全データ品質向上と人間系による活用の相乗効果
 - (1) 設備データの品質向上の重要性
 - (2) 保全データの電子化と保全情報システムによるデータ品質の活用の相乗効果
 - (3) 故障解析データおよびMQ指標の重要性
 - (4) 保全データの人間系での活用 (「検討会議」)

第4章 「包括的な保全データマネジメントシステム」の要点

1. MQ-Centeredの仕組みの構築
2. 設計・施工段階との連携
 - (1) EQ指標の重要性とその例
 - (2) 重要なEQ指標の推進方法
3. 製造領域との連携
4. 各LC段階の連携に対する最新情報技術の活用
5. 経営に示す保全活動 (EQ-OQ-MQの集約)
6. 「包括的保全データマネジメントシステム」のまとめ

<巻末資料> 「保全データ」の実態調査結果

(注) 太線の枠内をご記入ください

資料とともに請求書をお送りいたします。



実費頒布申込書

<input type="checkbox"/> 日本プラントメンテナンス協会会員 <input type="checkbox"/> 一般		お申込み日 年 月 日	
書名	会員	一般	
保全データマネジメント の考え方 報告書	2,750円× () 冊	3,300円× () 冊	
	= (,) 円	= (,) 円	
合計		円	
適用消費税、別途送料を含めた金額でご請求いたします			
フリガナ	フリガナ		
会社名	事業場名		
所在地	〒	TEL: ()	日本プラントメンテナンス協会への連絡・希望事項
		FAX: ()	
		電子メール: @	
右 (注) をご確認ください。			
フリガナ	所属	日本プラントメンテナンス協会内部連絡事項 <適用コード> ・KA-0101: 保全技術研究	
申込者名	役職	受 付	参加登録
		請求登録	発 送

■個人情報の取り扱いについて
ここに記入いただいた個人情報は、当協会保有データとして管理させていただきます。また、後日に当協会および当協会関連法人の商品・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただきます場合がございます。収集した個人情報は、当社プライバシーポリシーに則った安全対策を施し、適切に管理いたします。なお、ご案内の送付中止、および個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当協会ホームページをご参照ください。
●個人情報に関するお問い合わせ先: (社)日本プラントメンテナンス協会 <http://www.jipm.or.jp/privacy.html>